

### ⑤検査立会い

コンサルタントは工事期間中必要に応じて、各出来高に対する検査を行ない、工事が完了し契約条件が遂行されたことを確認の上、最終的に、施設・機材の引き渡しに立会い、施主の承認を得て業務を完了する。なお、本プロジェクト建設中の進捗状況、支払い手続き、完成引き渡しに関する必要諸事項等を日本国政府関係者に報告する。

図4-10に施工監理体制と関連機関の関連を示す。

### (3) 施工監督者

設計図書に合致した施設建設を工期内に完成させるためには、フィジー国の現地施工会社との共同作業を円滑に運営出来る能力と、現地施工会社に適切な技術指導のできる能力が必要とされる。さらに本プロジェクトの性格を理解し、より良い品質を確保するためにも病院、教育訓練施設建設の経験を持つ施工監督者が望ましい。

本プロジェクトの施設規模、内容から必要とされる常駐施工監督者の人数、種類は次の通りである。

#### ①施設

- ・所長 : 1名 管理全般
- ・建築担当かつ施工図担当 : 1名 工事管理及び施工図作成指導
- ・設備・電気担当 : 2名 設備・電気指導
- ・事務担当 : 1名 輸入資機材、労務、事務管理

#### ②機材

機材据付指導、取扱指導のため次の技術者派遣が必要である。

##### ・放射線関連機材

- 〔・一般撮影装置、自動現像器、超音波診断装置 : 1名
- 〔・X線テレビ装置、全身用CTスキャナー装置 : 1名

##### ・滅菌関連機材

- 〔・オートクレーブ : 1名
- 〔・EOG滅菌器、グローブ乾燥散粉器 : 1名

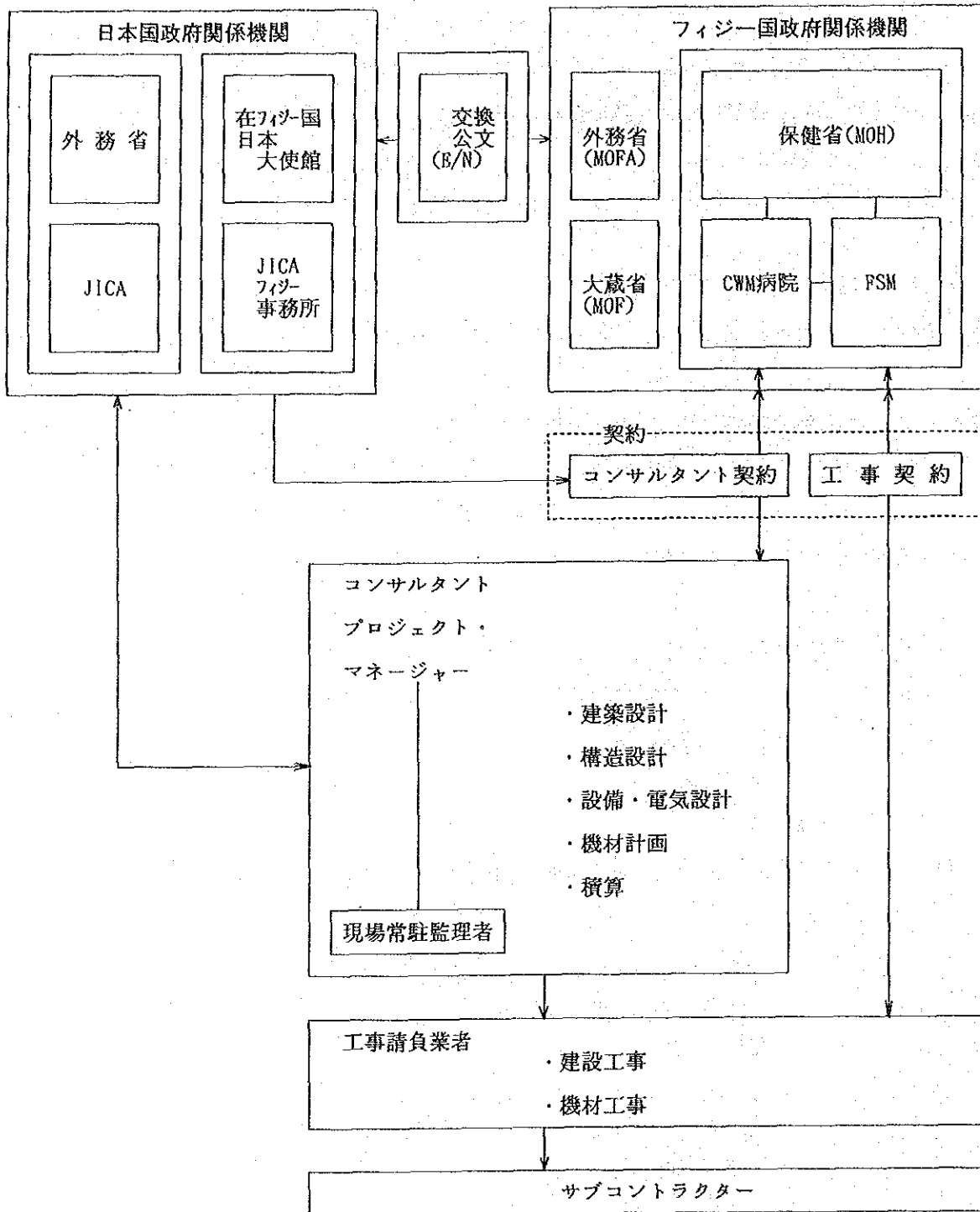
##### ・実験台関連機材

- (・実験台据付 : 1名

##### ・その他機材

- 〔・心電図モニター、コルポスコープ、脳波計、  
自動染色装置、血液凝固計、自動血球係数装置、  
電気泳動装置、CO2 インキュベーター、麻酔器、  
電気メス : 1名

図4-10 施工監理体制



#### 4.4.4 資機材調達計画

##### (1) 建設資材

建設資材の調達は、現地調達を基本方針とする。現場調達が困難なもの及び本プロジェクトの品質、レベルを確保するために必要なものは日本からの調達とする。表4-16に資機材調達区分を示す。

表4-16-1 資機材調達区分表

項 目	日 本	現 地	
建築資材			
1. 骨材 (碎石、砂)		◎	
2. セメント		◎	
3. 鉄 筋		◎	
4. コンクリートブロック		◎	
5. 防水剤		◎	
6. 合板・木材		◎	
7. 床、壁用タイル		◎	
8. 木製建具		◎	
9. 金属製建具	○	●	特殊建具 (鉛入) は現地にはない
10. 建具金物 (マスターシステム)	○	●	マスターシステムは輸入品となる
11. 塗 料		◎	
12. 作業台・流し台	○	◎	実験台の甲板は現地にはない
13. 木製棚・カウンター		◎	
14. フェンス・ゲート		◎	
15. エレベーター		●	
16. コンクリート舗石		◎	
17. 型枠材		◎	
18. 工専用機械		◎	

表4-16-2 資機材調達区分表

項 目	日 本	現 地	
設備資材			
1. PVC電線管		◎	
2. 電線・ケーブル類		◎	
3. 盤 類		◎	
4. 照明器具		◎	
5. 変圧器		◎	
6. ディーゼル発電機	○		日本製が現地で一般的である
7. 配線器具		◎	
8. 弱電機器	○	◎	一部既存日本製に合わせるため、 日本製を使用
9. PVC配管（衛生用）		◎	
10. 銅 管		◎	
11. 衛生陶器類		◎	
12. ボイラー	○		既存ボイラーは英国製であるが、 価格が高い
13. ポンプ類		◎	
14. 焼却炉		◎	同 上
15. ウインドクーラー		◎	同 上
16. ファン類		◎	同 上

◎：フィジー産又はフィジーで調達可能な資材  
 ●：オーストラリア・ニュージーランド等からの  
 輸入品

(2) 医療機材

原則的には日本からの調達とするが、4.1「基本方針」の項で述べたように、第三国より調達することが総合的に有利と判断された機材においては、日本品と限定せず、積極的にこれを採用する。

機材供与において、もっとも厄介な問題は機器の保守と消耗品の定期的な補給に関してであり、これはプロジェクトの成否にかかわる重要な問題でもある。

幸いフィジーには、規模は小さいながらも関連の代理店が数社あるため、これらの扱う製品を取りこむことにより、維持管理が容易な体制にしておくことも必要と考えられる。

また本案件においては、機材における標準化の点から、先にアメリカやオーストラリアなどから供与された機材との関連を無視することはできない。これらの機材が供与されたのが1989年以降と日が浅いため、今後の運用が円滑に行われるかどうかは未定だが、いくつかの機器においては機種の一統も必要と判断される。

以下に第三国より調達、またはフィジーにある代理店を介在させたほうが有利とみられる機器をあげる。これらの機器はいずれも定期的な保守点検、あるいは消耗品や部品の交換を要するものである。

表4-17 第三国調達/フィジー代理店経由計画機材

・人工呼吸器 ・脳波計	・麻酔器 ・心電計
----------------	--------------

また明らかに日本製より廉価で、性能、仕様などの見地からみても日本製と同等以上の機材（木製品など）においては、現地での調達もありうる。

表4-18 現地調達計画機材

・医師診察机	・各種作業台
--------	--------

### (3) 資材輸送ルート

フィジー国内の主要貿易港は、首都のスヴァ港とナンディ側のラウトカ港である。日本からフィジーへの海上輸送される資材は、スヴァ港に荷揚げされ、プロジェクトサイトに陸送される。スヴァ港からプロジェクト・サイトへの道路はアスファルト舗装されており、問題はない。

医療機材の輸送については、日本製品は原則的にはコンテナ積みによる海上輸送とし、第三国製品は木枠梱包またはコンテナによる海上あるいは空輸とする。

#### 4.4.5 実施スケジュール

本計画は新設工事 8,320㎡、改修工事約 360㎡の規模を持つこと、現在フィジーの建設業界自体も活発でないこと等の条件により、全体工事期間を検討すると24ヶ月間を要する事から、本計画は2期分けの工事工程となる。

第1期は施設新設工事で交換公文の締結、コンサルタント契約、実施設計等を経て、工事が着工され完工までに12ヶ月間を要する。

工事内容：中央棟、南棟、機械棟の新築

第2期は第1期と同様の経緯を経て、工事が着工され完工までは12ヶ月間を要する。

工事内容：北棟、講堂、渡り廊下の新築と外構工事、及び中央図書館の改修  
医療材料の据付、取扱い説明は上記工事工程に合致して行われ、日常の診療活動に支障を来さない様計画する。

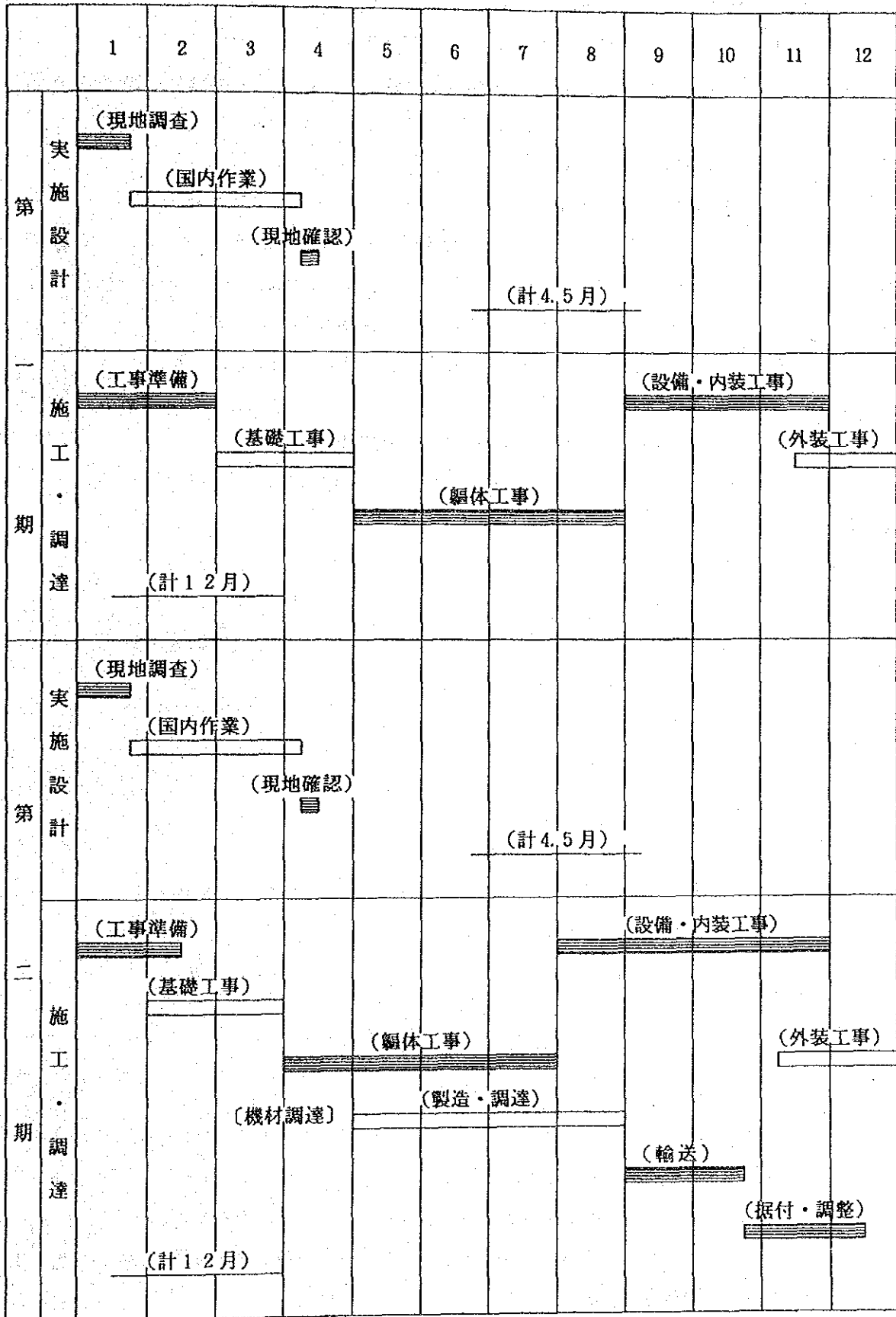


図4-11 事業実施工程表

#### 4.4.6 概算事業費

##### (1) 工事範囲

本プロジェクトを日本の無償資金協力で実施する場合、両国政府の工事負担範囲は下記の通りとするのが妥当である。

##### ①日本側分担工事範囲

- a. コンサルタント業務
  - ・ 詳細設計、入札、入札評価及び施工監理業務等のコンサルタント業務
- b. 医療機材調達据付けと教育病院の新設ならびに既存病院の一部改修
  - ・ 4章4.3.1に示す施設新設及び一施設改修
  - ・ 4章4.3.2に示す医療・教育機材の調達と据付け
- c. 関連業務
  - ・ 日本からフィジーへの資機材輸送業務
  - ・ フィジーの陸揚げ港から建設地までの国内輸送業務

##### ②フィジー国側負担工事範囲

- a. 建設予定地の整備
  - (新設建屋建設に伴う除草、整地等)
- b. 仮設電力・電話、給水の確保
- c. 建設実施に必要な諸情報の提供
- d. 外構工事
  - i. 植栽工事
- e. 基幹工事
  - i. 給水(市水引込み配管)
  - ii. 排水(公共下水本管から所定公設樹を含む排水管路)
  - iii. 電力(敷地外からの所定位置迄の引込み)
  - iv. 電話(MDF迄の局線引込み)
- f. 家具及び備品
  - ・ 事務用家具及び備品、寝具等の備品
- g. 各種ユーティリティの接続工事
  - ・ 日本より調達される医療機材の設置に必要なスペースの確保等の諸工事
  - ・ 日本側が設置する施設用給水・排水樹に対する接続工事
  - ・ 日本側が設置する施設用電力供給用分電盤に対する接続工事
- h. 日本側工事範囲の施設改修工事、新設建屋建設に伴うベッド、家具什器、医療機屋への移転
- i. 銀行取極に伴う手数料の費用の負担



- j. 無償資金協力範囲で調達される資機材のフィジー国輸入港に於ける荷上げ、免税、通関及び国内輸送に係わる迅速な措置
- k. プロジェクトの資機材・役務の提供にたずさわる日本人に対して、フィジー国で課せられる関税、国内税その他の財政課徴金を免除すること。
  - 1. 認証された契約に基づき、前項に記述した日本人に対して、その作業の遂行のためフィジー国への入国及び同国に於ける滞在に必要な便宜を与えること。
- m. 無償資金協力にて建設、調達された施設及び機材を適正かつ効果的に運営維持するために必要な予算及び職員を確保すること。
- n. 無償資金協力範囲外でプロジェクトの遂行に必要なすべての費用を負担すること。

(2) 概算事業費

本プロジェクトを日本の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費総額は、約 22.51 億円となり、先に述べた日本国とフィジー国との負担区分に基づく双方の経費内訳は、下記に示す積算条件によれば次の通りと見積られる。

①日本側負担経費

表 4-20 概算事業費

事業費区分	第 1 期	第 2 期	合計
a. 建設費	10.82億円	5.99億円	16.81億円
i. 直接工事費	(8.60億円)	(4.35億円)	(12.95億円)
ii. 現場経費	(0.73億円)	(0.73億円)	(1.46億円)
iii. 共通仮設費等	(1.49億円)	(0.91億円)	(2.40億円)
b. 機材費	一 億円	3.94億円	3.94億円
c. 設計・監理費	0.65億円	0.85億円	1.50億円
合計	11.47億円	10.78億円	22.25億円

②フィジー国負担経費 F\$ 265,650 (約26.5百万)

表4-21 フィジー国側負担工事費

項 目	第1期工事	第2期工事	負担工事費合計
a. 敷地整地工事費	F\$ 8,500.00	—	F\$ 8,500.00
b. 外構工事費	—	F\$ 13,800.00	F\$ 13,800.00
c. エレキ- 引込み工事費	F\$ 40,000.00	—	F\$ 40,000.00
d. 家具及び備品工事費	F\$ 70,890.00	F\$ 128,460.00	F\$ 199,350.00
e. 移送費	F\$ 3,000.00	F\$ 1,000.00	F\$ 4,000.00
負担工事費合計	F\$ 122,390.00	F\$ 143,260.00	F\$ 265,650.00

③積算条件

a. 積算時点

・フィジー国ポーション：平成2年4月に実施した基本設計時の収集資料による。

・日本国ポーション：平成2年5月の刊行物及び積算資料

b. 為替交換レート（平成2年5月より6ヶ月間さかのぼった平均値）

・US\$ 1 = 150.91円

・F\$ 1 = US\$ 0.667

・F\$ 1 = 100.66円

c. 施工期間

・2期による工事とし、各期に要する詳細設計、工事（機材調達据付を含む）の期間は、施工工程に示したとおり。

d. その他

・本計画は、日本国政府の無償資金協力の制度に従い実施されるものとする。

## 第5章 事業効果と結論



## 第5章 事業効果と結論

CWM病院は、フィジー国の中央地域の地域病院として、また国全体のレフェラル病院としての役割を持つとともに、南太平洋島嶼国地域の医療従事者養成校であるFSMの臨床教育病院としての役割も持っている。しかし、CWM病院の施設・医療機材共に老朽化が著しく、教育病院としての機能はもとより、地域の医療ニーズにも十分に対応できない状況にある。

本計画により、こうした現状にあるCWM病院を改修・整備し、南太平洋島嶼国地域の教育病院としての機能と本来の病院機能の回復と改善を図る事で、次の事業効果が期待できる。

### (1) フィジー国保健医療行政と島嶼国への貢献

本計画は、プライマリー・ヘルスケアの維持と第2、3次医療の発展、及び地域医療サービスの充実に寄与するばかりではなく、フィジー国保健医療サービスの改善や南太平洋島嶼国に対する医療従事者養成に多大な貢献をすることが期待出来る。

### (2) FSM

#### ①臨床教育機能の充実

現在のCWM病院には、臨床教育を行なうスペースが不足している。本計画で臨床教育を行なうスペースを確保することにより、臨床教育機能の強化と充実を図る事が可能となる。又、FSMが計画している学生数の増加にも対応できる。

#### ②中央医学図書館の新設

現在、タマヴァ校舎とフードレスハウスの2ヵ所に分散している図書館を現放射線棟を改修して、中央医学図書館として新設することにより、医学生やCWM病院のスタッフのみならず、フィジーの医療従事者が活用できることになる。

#### ③島嶼国からの学生受け入れ拡大

老朽化が著しいCWM病院を改善し、臨床教育機能を充実させることにより、島嶼国からの学生を受け入れやすくなる。

### (3) CWM病院

#### ①医療サービスの拡充と診療機会の増加

下記に示す診療内容の拡充・強化に伴い、医療サービスの範囲が広がり、地域住民の診療機会が増加する。

- 重症患者に対する集中看護・治療機能の強化（重症患者専用病床78床増床）
- 一般・特別外来部、及び、救急外来部の充実

- 手術部、放射線部、検査部、中央滅菌材料部の機能強化と拡充
- 事務部門の集約化による事務処理繁雑さの解消

#### ②地域医療サービスの向上

病院の機能が回復され、国のトップレフェラル病院としての医療サービスの提供が可能となる医療機関となり、地域医療サービスの向上が図られる。これにより中央地域31万人の地域住民のみならずフィジー国民71万人の保健医療環境が改善される。

#### ③医療水準の向上

病院施設・医療機材が整備される事により、医療水準が改善され向上し、フィジー国のトップレフェラル病院としての機能を発揮できる病院となる。

これにより適切な診断・治療が可能となり、地域住民の保健医療に多大な貢献を果たす。また診断・治療が出来ないでオーストラリア、ニュージーランド等へ転送していた患者数とその転送コストの低減が可能となり、病院並びに患者の経済的負担の軽減が期待出来る。

#### ④診療効率の向上と医療コストの低減

診療部門の中央化と集約化並びに医療機材の整備により、診療システムの合理化が図られ、診療効率が向上する。これにより、1件当りの診療時間・医療コストが低減し、診療件数の増加が期待出来る。

本計画は、フィジー国政府がCWM病院と医学校の施設再開発を計画し、WHOの支援を得て、3段階からなる再開発マスタープランの内の第1段階である。従って施設計画、医療機材計画の規模と内容の設定においては、CWM病院の現状を考慮の上、マスタープランに沿った計画とし、引き続きフィジー政府が第2、3段階を実施すれば、フィジー国の医療サービス水準の向上はもとより南太平洋島嶼国に対する医療従事者の養成にも大きく貢献できるものと期待できる。

本計画完成後の病院運営は、医療スタッフ現有530名で充分対応可能であり、現在行なわれているオーストラリア、ニュージーランドからの技術協力は引き続き継続されることが期待される事と、又、CWM病院を管轄する保健省の強いバックアップの確約がある事等で問題はない。又、本計画実施に伴うCWM病院に対する予算増額（3%）についても保健省の確約があり、運営予算は優先的に確保される見通しである。

本計画により前述のように多大な効果が期待されると同時に本計画が広く住民の医療保健の向上に寄与するものであり、南太平洋島嶼国に対する医療従事者の養成に大きく寄与する事が期待されることから、本計画を無償資金協力で実施する事は妥当であると判断される。更に本計画の運営・管理についても、フィジー国側体制は人員、資金共に問題はないと考えられる。

しかし、病院機能・活動の向上のためには、病院の運営面等、ソフト面での充実が不可欠であり、同病院関係者は円滑な病院運営のために以下の点に留意する必要がある。

- ①調達機材に対する習熟努力
- ②建設施設・調達機材の効果的活用
- ③建設施設・調達機材の適切な保守管理と予算措置
- ④保守管理体制の確立と清掃部門の強化

また、CWM病院の監督官庁である保健省は、当病院が円滑に運営されるよう全般に渉る支援を行う必要がある。

さらに、CWM病院とFSM両開発マスタープランの第2，3段階の見直しと、その実施が望まれる。





## 付属資料

1. 基本設計調査及び報告書説明調査
  - 1-1 基本設計調査ミニッツ
  - 1-2 報告書説明調査ミニッツ
  - 2-1 基本設計調査日程表
  - 2-2 報告書説明調査日程表
  - 3-1 基本設計調査団員名簿
  - 3-2 報告書説明調査団員名簿
2. 面談者リスト
3. 収集資料リスト



1. 基本設計調査及び報告書説明調査

1-1 基本設計調査ミニッツ

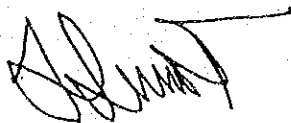
MINUTES OF DISCUSSIONS  
ON  
THE PROJECT FOR THE REDEVELOPMENT  
OF THE FIJI SCHOOL OF MEDICINE  
AND THE COLONIAL WAR MEMORIAL HOSPITAL  
IN THE REPUBLIC OF FIJI

In response to the request of the Government of the Republic of Fiji, the Government of Japan decided to conduct a Basic Design Study on the Project for the Redevelopment of the Fiji School of Medicine and the Colonial War Memorial Hospital ( the Project ) and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA). JICA sent a Study Team ( the Team ) headed by Dr. ATSUAKI GUNJI, Director of the Department of Public Health Administration, the Institute of Public Health, Ministry of Health and Welfare to the Republic of Fiji from April 9 to May 8, 1990.

The Team held a series of discussions on the Project with the officials concerned of the Government of Fiji and conducted a field survey in the Project site.

As a result of study, both parties agreed to recommend to their respective Governments that the major points of understanding reached between them, as attached herewith, should be examined towards the realization of the Project.

April 18, 1990



DR. ATSUAKI GUNNJI

Team Leader

Basic Design Study Team

J I C A



DR. APENISA KURISAQILA

Minister for Health

Ministry of Health

ATTACHMENT

1. OBJECTIVE

In order to promote the WHO objective "HEALTH FOR ALL 2000", the Regional Committee for the Western Pacific passed the resolution for "Reorientation of Health Personnel" on 15th of September, 1988.

According to the resolution, the Western Pacific Regional Office of WHO held a series of meeting and crystallized "the Plan for Action for the development of the Fiji School of Medicine as a centre for education of health personnel in the South Pacific region".

The Government of Fiji is taking a positive role in this region by strengthening educational functions of the Fiji School of Medicine. The objective of the Project intends to contribute to this plan by improving and renovating clinical functions and teaching facilities of the Colonial War Memorial Hospital/the Fiji School of Medicine complex for health development in Fiji and its regional neighbours.

2. PROJECT SITE

The Project site is at Extension Street, Suva, the Republic of Fiji, as shown in ANNEX I.

3. EXECUTING AGENCY

The Ministry of Health, the Government of Fiji shall be responsible for the management and operation of the Project.

4. REQUEST

Contents of the request for the Project are as follows:

1) Construction of facilities and supply of equipment

a. General outpatient clinic

b. Special clinics

— medicine

— surgery

— orthopaedics

— paediatrics

— gynaecology

— otorhinolaryngology

— ophthalmology

— dermatology

— urology

A.G.

- c. Accident and emergency unit
- d. Diagnostic unit
  - organ imaging
  - laboratory
  - physiology
- e. Operation unit
- f. Central supply and sterilizing unit
- g. Pharmacy
- h. Blood bank
- i. ICU
- j. Acute care ward
- k. Educational facilities such as a clinical lecture room and seminar rooms

2) Establishment of the Central Medical Library in the Colonial War Memorial Hospital Compound

5. JAPAN'S GRANT AID SYSTEM

The Ministry of Health, the Government of Fiji understood the Japan's Grant Aid system explained by the Team which includes a principle of usage of a Japanese Consultant Firm and a Japanese General Contractor for the construction and supply of materials.

6. UNDERTAKING OF THE GOVERNMENT OF JAPAN

The Team will convey to the Government of Japan the request of the Government of Fiji that the former takes necessary measures to co-operate in construction of facilities and supply of equipment and materials within the scope of Japan's Grant Aid Programme.

7. UNDERTAKING OF THE GOVERNMENT OF FIJI

The Government of Fiji will take necessary measures listed in ANNEX II, as proposed by the Team on the condition that the Japan's Grant Aid would be extended to the Project.

A.G.

8. WHO COORDINATION

The Regional Advisor, Health Manpower Development of Western Pacific Regional Office of World Health Organization has participated in the series of discussions on the Project on the viewpoint of coordination among the countries concerned.

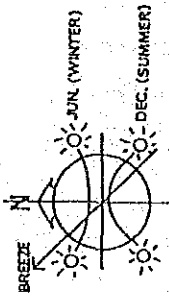
A.G.

AK

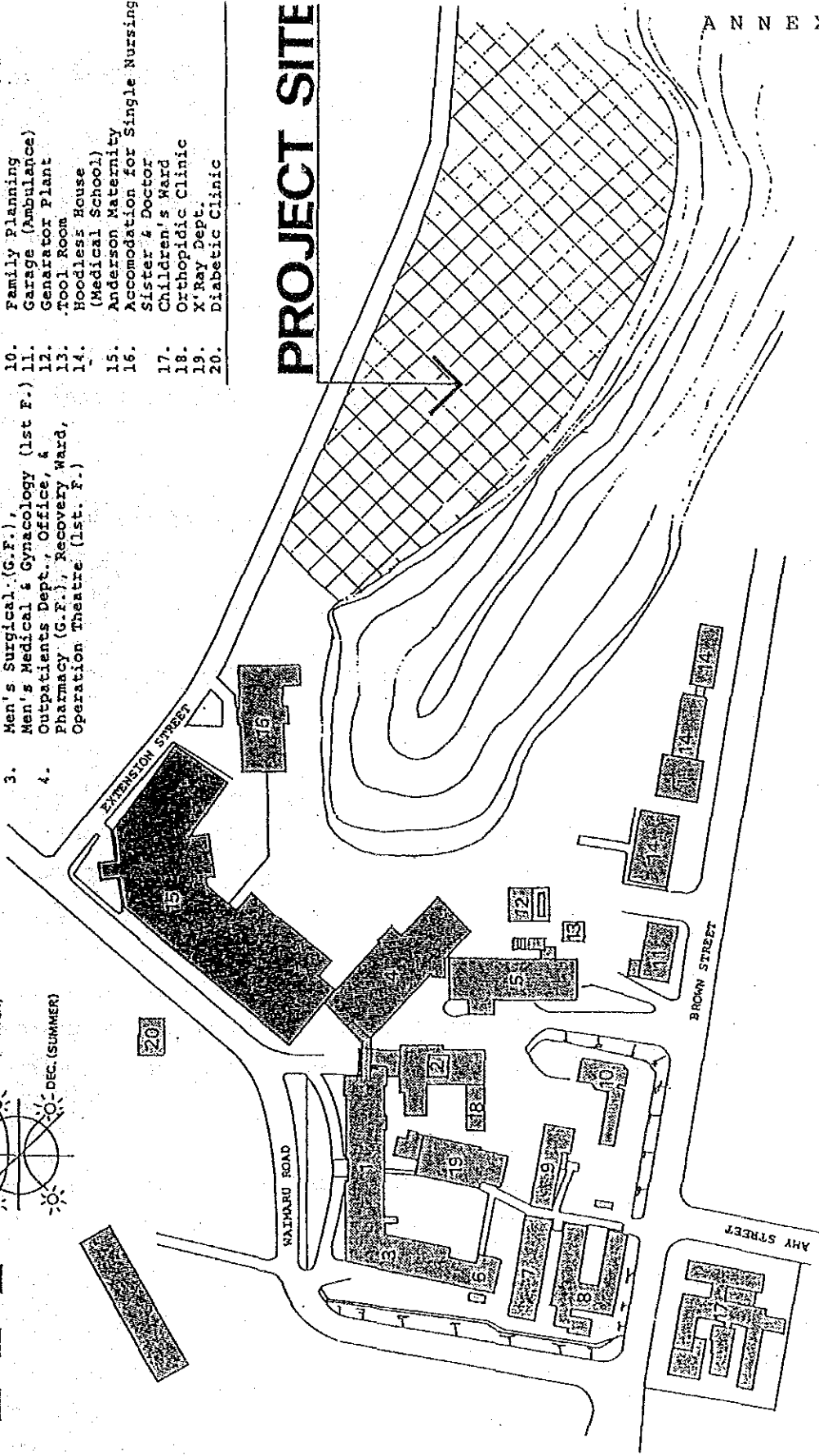
THE PROJECT FOR THE REDEVELOPMENT OF THE FIJI SCHOOL OF MEDICINE AND THE COLONIAL WAR MEMORIAL HOSPITAL

TITLE : SITE PLAN

A.G



- | NO. | FACILITY NAME  |
|-----|--|
| 1.  | Paying Ward, Men Surgical & Eye Dept. Office   |
| 2.  | Men's Medical Ward (G.F.) & Children's Ward (lst F.)                                     |
| 3.  | Men's Surgical (G.F.), Men's Medical & Gynecology (lst F.)                               |
| 4.  | Outpatients Dept., Office, & Pharmacy (G.F.), Recovery Ward, Operation Theatre (lst. F.) |
| 5.  | Laundry  |
| 6.  | Physiotheology   |
| 7.  | Dental Dept.   |
| 8.  | Pathological Laboratory & Mortuary   |
| 9.  | Accommodation for Paramedics   |
| 10. | Family Planning  |
| 11. | Garage (Ambulance)   |
| 12. | Generator Plant  |
| 13. | Tool Room  |
| 14. | Hoodless House (Medical School)  |
| 15. | Anderson Maternity   |
| 16. | Accommodation for Single Nursing Sister & Doctor   |
| 17. | Children's Ward  |
| 18. | Orthopedic Clinic  |
| 19. | X-Ray Dept.  |
| 20. | Diabetic Clinic  |



PROJECT SITE

ANNEX I

C.W.M. HOSPITAL

DR

ANNEX II

1. To secure the land for the Project and to clear, level and reclaim the project site when needed;
2. To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage, gas supply, telephone system and other incidental facilities to the project site;
3. To ensure necessary budget and personnel for proper and effective operation and maintenance of facilities and equipment provided under the Project;
4. To exempt import duties and incidental expenses which may be imposed in Fiji and to take necessary measures for customs clearance of the products brought in for the implementation of the Project;
5. To assume commissions the Japanese foreign exchange bank for banking services based on the banking arrangement;
6. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of products and services under the verified contracts, such facilities as may be necessary for their entry into and stay in Fiji for the performance of their work;
7. To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in Fiji with respect to the supply of products and services under the verified contracts; and
8. To bear all the expenses, other than those to be borne by the Grant Aid, necessary for the implementation of the Project.

A.G



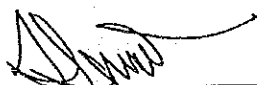
MINUTES OF DISCUSSIONS  
ON  
THE REPORT OF THE BASIC DESIGN STUDY  
ON  
THE PROJECT FOR THE REDEVELOPMENT OF THE FIJI SCHOOL OF MEDICINE  
AND THE COLONIAL WAR MEMORIAL HOSPITAL  
IN  
THE REPUBLIC OF FIJI

In the response to the request made by the Government of the Republic of Fiji, the Government of Japan decided to conduct a Basic Design Study on the Project for the Redevelopment of the Fiji School of Medicine and the Colonial War Memorial Hospital ( hereinafter referred to as "the Project " ) and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA). JICA sent to the Republic of Fiji the study team from April 9 to May 8, 1990.

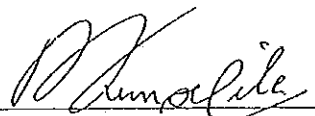
As the result of the survey and discussions, JICA prepared a Draft Final Report on the study and dispatched the second mission headed by Dr. Atsuaki Gunji, Director, Department of Public Health Administration, the National Institute of Public Health, Ministry of Health and Welfare, to explain and discuss it from July 3 to 10, 1990.

Both parties had a series of discussions on the Report and have agreed to recommend to their respective Governments that the major points of understanding reached between them, attached herewith, should be examined towards the realization of the Project.

Suva, July 9, 1990



Dr. Atsuaki Gunji  
Team Leader  
Draft Final Report Explanation Team  
J I C A



Dr. Apenisa Kurisaqila  
Minister for Health  
Ministry of Health  
The Republic of Fiji

ATTACHMENT

1. The Government of the Republic of Fiji has agreed in principle to the basic design proposed in the Draft Final Report. The appropriate alterations including the following items agreed by both sides in the course of discussions will be incorporated in the Final Report.

(1) To exclude the Ophthalmology from the Special Clinics.

(2) To set up the Seminar Rooms in the following sections.

[Ground Floor]

- Administration Dept.
- General Outpatient Clinic
- Organ Imaging Dept.
- Casualty Dept.

[First Floor]

- Clinical Laboratory
- Special Outpatient Clinics
- Operation Unit

[Second Floor]

- Wards

2. The Government of Fiji agreed that the Central Medical Library will be established in the existing building of the Organ Imaging Dept. of the CWM Hospital by remodelling its interior.

3. The Team will convey to the Japanese Government the strong request of the Government of Fiji to include a C.T. Scanner in the Project.

4. The WHO representative for the South Pacific has participated in the series of discussions on the Project and expressed that the WHO will make efforts to support the development of the FSM and the Teaching Hospital by coordinating international efforts, according to "the Plan for Action for the development of the Fiji School of Medicine".

AGP  
PK

5. The Government of Fiji has understood Japan's Grant Aid System and reconfirmed the necessary measures to be taken by the Government of Fiji which are manifested in the Annex II of the "Minutes of Discussions" on the Project signed on April 18, 1990, on condition that the Grant Aid by the Government of Japan would be extended to the Project.
  
6. The Final Report(10 copies in English) on the Project will be submitted to the Government of Fiji within September 1990.

AGI  
10/2

2-1 基本設計調査日程表

月・日	団員	行 動	宿泊地
4月 9日 (月)	全員	・成田発 (20:47, FJ-303)	機中泊
10日 (火)	全員	・ナンディ着 (7:35) ・ナンディ発 (9:40, FJ-109) ・スヴァ着 (10:00) ・日本大使館、保健省、WHO表敬訪問 ・インセプションレポート、質問書提出	スヴァ
11日 (水)	全員	・CWM病院視察 ・CWM病院内で打合せ ・インセプションレポート、質問書の内容説明 ・建設予定地の選定 ・病院と医学校の施設内容について	スヴァ
12日 (木)	全員	・保健省 ・討議内容の報告、確認 ・医学校、看護学校視察	スヴァ
13日 (金)	全員	・CWM病院視察 ・施設内容討議	スヴァ
14日 (土)	全員	・団内ミーティング (資料整理)	スヴァ
15日 (日)	全員	・団内ミーティング (施設内容について) ・技協調査団到着	スヴァ
16日 (月)	全員	・団内ミーティング (ミニッツドラフト作成) ・技協調査団と打合せ	スヴァ
17日 (火)	郡司、宮崎、中村 力丸、江頭 河合、小川	・保健省でミニッツドラフト打合せ 合意 ・技協の説明	
	佐布、菅原、中谷	・CWM病院内調査	スヴァ

月・日	団 員	行 動	宿泊地
18日 (水)	郡司、宮崎、中村	・ミニッツ署名交換	
	力丸、江頭 河合、小川	・日本大使館、JICAへ報告	
	河合、小川	・PWDと建築に係わる打合せ、質問書提出	
	佐布、菅原、中谷	・CWM病院内調査	スヴァ
19日 (木)	宮崎、中村	・スヴァ発 帰国の途に	
	郡司、力丸、江頭 河合、小川	・CWM病院と保健省で技協の説明	
	佐布、菅原、中谷	・CWM病院内調査	スヴァ
20日 (金)	郡司、力丸、河合	・ナヴァ・サブディヴィジョナル病院、シガトカ・	
	小川、佐布、菅原 中谷	ディビジョナル病院、ドゥヴァ・ナーシングステーション視察	ナンディ
	江頭	・日本大使館、JICAへ報告	スヴァ
21日 (土)	郡司、力丸、河合	・ラウトカ病院視察	
	小川、佐布、菅原 中谷		
	郡司、力丸、江頭	・ナンディ発 帰国の途に	
	河合、小川、佐布 菅原、中谷	・スヴァへ移動	スヴァ
22日 (日)	河合、小川、佐布	・団内ミーティング	
	菅原、中谷		スヴァ
23日 (月)	河合、小川、菅原	・建築予定地簡易測量	
	佐布、中谷	・CWM病院内調査	スヴァ
24日 (火)	河合、小川、佐布	・建築単価、インフラストラクチャー調査	
	菅原 中谷	・CWM病院内調査	スヴァ

月・日	団 員	行 動	宿泊地
25日 (水)	小川、佐布、菅原	・建設予定地7ヶ所試掘 ・インフラストラクチャー調査	
	河合、中谷	・医学校調査	スヴァ
26日 (木)	河合、中谷	・病院各部の要請内容打合せ	
	小川	・FNTC、FIT、統計局調査	
	佐布、菅原	・インフラストラクチャー調査	スヴァ
27日 (金)	河合、中谷	・病院各部の要請内容打合せ	
	小川	・大蔵省、気象台、銀行調査	
	佐布、菅原	・インフラストラクチャー調査	スヴァ
28日 (土)	河合、小川、佐布 菅原、中谷	・団内ミーティング（要請内容について）	スヴァ
	河合、小川、佐布 菅原、中谷	・団内ミーティング（部門別スケッチ作成）	スヴァ
29日 (日)	河合、小川、佐布	・団内ミーティング（部門別スケッチ作成）	
	菅原、中谷		スヴァ
	河合、中谷	・病院各部の要請内容打合せ	
30日 (月)	小川	・国土計画局、貿易局、豪国際開発援助局調査	
	佐布、菅原	・インフラストラクチャー調査	スヴァ
	河合、小川、中谷	・病院各部の要請内容打合せ	
5月 1日 (火)	佐布、菅原	・インフラストラクチャー調査	スヴァ
	河合、小川、中谷	・病院各部の要請内容打合せ	
2日 (水)	河合、小川、中谷	・建設資材調査	
	佐布、菅原	・インフラストラクチャー調査	スヴァ

月・日	団員	行 動	宿泊地
3日 (木)	河合、小川、中谷	・メモランダム署名交換	
	佐布、菅原	・インフラストラクチャー調査	スヅァ
4日 (金)	河合、小川、佐布	・日本大使館、JICA、WHO、保健省、CWM	
	菅原、中谷	病院、医学校、PWD 帰国報告	スヅァ
5日 (土)	河合、小川、佐布	・ナンディへ移動	
	菅原、中谷		ナンディ
6日 (日)	河合、小川、佐布	・団内ミーティング	
	菅原、中谷		ナンディ
7日 (月)	河合、小川、佐布	・ナンディ発 (6:35, FJ-714)	
	菅原、中谷	・シドニー着 (9:10)	シドニー
8日 (火)	河合、小川、佐布	・シドニー発 (9:40, FJ-772)	
	菅原、中谷	・成田着 (17:35)	

2-2 報告書説明調査日程表

月・日	団員	行 動	宿泊地
7月 2日 (月)	全員	・成田発 (20:30, FJ-303)	機中泊
3日 (火)	全員	・ナンディ着 (8:00) ・ナンディ発 (9:30, FJ-109) ・スヴァ着 (10:00) ・WHO、JICA表敬訪問	
	河合、中谷	・建築、機材補足調査	スヴァ
4日 (水)	全員	・日本大使館、保健省表敬訪問 ・CWM病院内で打合せ ・ドラフトレポート提出、説明	スヴァ
5日 (木)	全員	・CWM病院内で打合せ ・施設内容、平面図	スヴァ
6日 (金)	全員	・CWM病院内で打合せ ・施設内容、平面図 ・保健省 ・ミニッツドラフト打合せ	スヴァ
7日 (土)	全員	・CWM病院内で打合せ ・団内ミーティング (ミニッツドラフトについて)	
	河合、中谷	・建築、機材修正案作成	スヴァ
8日 (日)	全員	・団内ミーティング (施設内容について)	
	河合、中谷	・平面図修正	スヴァ
9日 (月)	全員	・ミニッツ署名交換 ・日本大使館、JICAへ報告	スヴァ
10日 (火)	全員	・スヴァ発 (8:30, FJ-108) ・ナンディ着 (9:00) ・ナンディ発 (10:20, FJ-914) ・シドニー着 (13:00)	シドニー



月・日	団員	行 動	宿泊地
11日 (水)	全員	・シドニー発 (9:30, FJ-772) ・成田着 (18:00)	

3-1 基本設計調査団員名簿

フィジー教育病院建設計画基本設計調査団員リスト

氏名	担当	所属
1. 郡司篤晃	総括	厚生省国立公衆衛生院公衆衛生行政学部長
2. 宮崎元伸	病院計画	厚生省大臣官房国際課国際協力専門官
3. 中村欣功	計画管理	国際協力事業団無償資金協力調査部 調査審査課課長代理
4. 河合良夫	建築計画	株式会社 梓設計
5. 小川穂積	建築設計	株式会社 梓設計
6. 菅原喜行	設備計画（電気）	株式会社 梓設計
7. 佐布恒雄	設備計画（給排水）	株式会社 梓設計
8. 中谷泰治	機材計画	株式会社 病院機器レイアウトセンター

フィジー教育病院技術教育専門家チーム

氏名	所属
1. 郡司篤晃	厚生省国立公衆衛生院公衆衛生行政学部長
2. 力丸 陽	厚生省国立鳴子病院院長
3. 江頭栄二	国際協力事業団医療協力部医療協力課

### 3-2 報告説明調査団員名簿

#### フィジー教育病院建設計画基本設計調査団員リスト

氏名	担当	所属
1. 郡司篤晃	総括	厚生省国立公衆衛生院公衆衛生行政学部長
2. 河崎充良	計画管理	国際協力事業団無償資金協力調査部 基本設計調査第一課
3. 河合良夫	建築計画	株式会社 梓設計
4. 中谷泰治	機材計画	株式会社 病院機器レイアウトセンター

## 2. 面談者リスト

所 属		氏 名
在フィジー日本国大使館	特命全権大使	磯貝 肥男
	参事官	高橋 康雄
	二等書記官	仁田 友樹
JICAフィジー事務所	所長	吉田 芳夫
	所員	水落 俊一
保健省	Minister	Dr. APENISA KURISANQILA
	Permanent Secretary	Dr. SAKIO I, VAREA
	Acting Permanent Secretary	Dr. PENI RIKA
	Director of Administration & Finance	Mr. VINCENT TOVATA
	Director of Nursing Services	Mrs. VINIANA L. TUISOWAQA
CWM病院	Medical Superintendent	Dr. JOSAJA TAKA
	Hospital Secretary	Mr. KITIONE MUK
	Consultant Anaesthetist	Dr. SEREIMA BALE
	Consultant Physician	Dr. N.K. SHRESTHA
	Consultant Pathologist	Dr. I. SERUVATU
	Consultant Surgeon	Dr. V.S. ETIKA
	Consultant Ophthalmologist	Dr. C.B. RATHOD
	Consultant Obstetrician and Gynecologist	Dr. MARY SCHRAMM
	Clinical Microbiologist	Dr. KUMAR P. SINGH
	Dental Doctor	Dr. MOSESE LIGANI
	Pharmacist	Mrs. FAY ABBOTT
	Laboratory Superintendent	Mrs. V.D. SIGABALAVU
	Senior Dietitian	Mrs. K. VULAMAILAIVALE
	Senior Physiotherapist	Mrs. SHANTA KANT
	Radiographer	Mrs. UNA FUNG
	Executive Officer	Mr. MELIKI WAQA
	Biomedical Engineer	Mr. BOB DALY
	(オーストラリア政府から派遣されている技術者)	
	Biomedical Engineer	Mr. PETER LOSIN
(オーストラリア政府から派遣されている技術者)		
フィジー 医学校	Head	Prof. IAN C. LEWIS
	Secretary, Administrator	Mr. EPELI KELEI
	Director of Paramedics and Health Science	Dr. SERUPELI LOMANI

	所 属	氏 名
WHO	Regional Advisor Representative of Fiji Nurse Advisor	Dr. ALBERTO ROMUALDEZ Jr. Dr. R.S.K. AHN Dr. RUTH STARK
大蔵省	Deputy Secretary for Finance	Mr. RISHI R. SHARMA
公共事業局 (PWD)	Director of Buildings Senior Architect Acting Principal Engineer Senior Engineer Services (Mech.) Engineer Services (Mech.) Mechanical Supervisor (CWMH) Electrician (CWMH)	Mr. TONY SANSOM Mr. CAMA T. TUILOMA Mr. SIA ANSARI Mr. GEOFF RELLEY Mr. NIKO BUKE Mr. PAU'U SOPAPELU RAKI Mr. GAYNESHWAR DATT
水道局	Principal Engineer	Mr. L. SIMPSON
電気公社	Regional Manager	Mr. N.U. DEAN
電話局	Assistant Manager Engineer	Mr. MUSTAQ ALI Mr. LANCE LIN
国土資源省	Assistant Director of Mapping & Lnad Information Principal Geologist	Mr. PITA L. TUILOMA Mr. PETER RODDA
統計局	Acting Principal Statistician	Mr. ERONI L.
气象台	Technical Officer	Mr. TAITO RIGAMOTO
看護学校	Principal	Mrs. R. NADAKUITAVUKI
職業訓練校 (FNTC)	Director of Training	Mr. JIOJI TAKAPE
技術専門学校 (FIT)	Vice Principal Acting Head of School	Mr. NETANI SUKANAIVALU Mr. SAMUELA WAQA
豪州国際開発 協力局	Project Manager	Mr. KRIS AYYAR
積算事務所	Quantity Surveyors	Mr. GORDON JENKINS

### 3. 収集資料リスト

番号	資料の名称	形態	版型	ページ数	オリジナル コピーの別	部数	収集先名称 又は発行機関
1.	FIJI SCHOOL OF MEDICINE HANDBOOK 1990	ペーパー	A4	110	オリジナル	2	FSM
2.	ANNUAL REPORT 1988	ペーパー	A4	20	コピー	1	FSM
3.	ANNUAL REPORT 1986	ペーパー	A4	113	オリジナル	1	FSM
4.	ANNUAL REPORT 1985	ペーパー	A4	86	オリジナル	1	FSM
5.	GRADUATION CEREMONEY 1989	ペーパー	A5	8	オリジナル	1	FSM
6.	GRADUATION CEREMONEY 1988	ペーパー	A5	8	オリジナル	1	FSM
7.	GRADUATION CEREMONEY 1987	ペーパー	A5	8	オリジナル	1	FSM
8.	STUDENTS BREAKDOWN 1990	ペーパー	A4	7	コピー	1	FSM
9.	PROGRESS REPORT 1990	ペーパー	A4	5	コピー	1	FSM (Prf.Lewis)
10.	CWM病院平面図	図面	A1		コピー	1	PWD
11.	フィジー医学校平面図	図面	A1		コピー	1	PWD
12.	ラウトカ病院平面図	図面	A1		コピー	1	PWD
13.	PLAN OF ACTION	ペーパー	A4	12	オリジナル	1	WHO
14.	CWM病院各種受付カード一式	ペーパー	—	—	オリジナル	—	CWM病院
15.	CWM病院質問書の解答	ペーパー	A4	—	オリジナル	—	CWM病院
16.	FIJI BUDGET ESTIMATE	ペーパー	A4	350	オリジナル	1	大蔵省
17.	REPORT OF THE FIJI CONSTITUTION INQUIRY AND ADVISORY COMMITTEE	ペーパー	B4	104	オリジナル	1	FIJI CONSTITUTION INQUIRY AND ADVISORY COMMITTEE
18.	CURRENT ECONOMIC STATISTICS	ペーパー	A4	119	オリジナル	1	BUREAU OF STATISTICS
19.	BUDGET 1990	ペーパー	B5	53	オリジナル	1	大蔵省
20.	SUPPLEMENT TO THE 1990 BUDGET ADDRESS	ペーパー	B5	56	オリジナル	1	大蔵省
21.	FIJI EXCHANGE RATES	ペーパー	A4	—	コピー	1	ANZ銀行
22.	輸出禁止品リスト	ペーパー	A4	18	コピー	1	貿易局
23.	THE NATIONAL BUILDING CODE OF FIJI 1990	ペーパー	A4	212	オリジナル	1	豪州国際開発 協力局

番号	資料の名称	形態	版型	ページ数	オリジナル コピーの別	部数	収集先名称 又は発行機関
24.	PUBLIC HEALTH (BUILDING) REGULATIONS	ペーパー	A4	80	コピー	1	Governor in Council
25.	気象データ	ペーパー	A4	18	コピー	1	FIJI METEOROLOGICAL SERVICE
26.	建設予定地航空写真	写真	A1	8	オリジナル	1	国土資源省
27.	スバ半島航空写真	写真	A2	1	オリジナル	1	国土資源省
28.	土地所有区分図	図面	A1	1	コピー	1	国土資源省
29.	FIT HANDBOOK 1990	ペーパー	B5	184	オリジナル	1	FIT
30.	FIT ANNUAL REPORT 1988	ペーパー	A4	77	オリジナル	1	FIT
31.	FNTC ANNUAL REPORT 1990	ペーパー	B5	149	オリジナル	1	FNTC
32.	FNTC ANNUAL REPORT 1988	ペーパー	A4	52	オリジナル	1	FNTC
33.	FNTC ANNUAL REPORT 1987	ペーパー	A4	50	オリジナル	1	FNTC
34.	A REPORT ON THE FUTURE DIRECTIONS OF THE BIOMEDICAL ENGINEERING SERVICE	ペーパー	A4	20	コピー	1	BIOMEDICAL ENGINEER, CWM

JICA